



平成27年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成27年8月7日

上場取引所 東

上場会社名 川岸工業株式会社
コード番号 5921 URL <http://www.kawagishi.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 川岸 隆一
問合せ先責任者 (役職名) 経理課長 (氏名) 影山 浩一

TEL 04-7143-1331

四半期報告書提出予定日 平成27年8月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年9月期第3四半期の業績(平成26年10月1日～平成27年6月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年9月期第3四半期	14,070	15.0	208	—	324	228.3	213	69.9
26年9月期第3四半期	12,234	30.9	△27	—	98	—	125	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年9月期第3四半期	14.62	—
26年9月期第3四半期	8.60	—

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年9月期第3四半期	22,835	—	16,445	—	—	72.0
26年9月期	23,074	—	16,147	—	—	70.0

(参考) 自己資本 27年9月期第3四半期 16,445百万円 26年9月期 16,147百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年9月期	—	0.00	—	8.00	8.00
27年9月期	—	0.00	—	—	—
27年9月期(予想)	—	—	—	8.00	8.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年9月期の業績予想(平成26年10月1日～平成27年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	17,000	△4.0	300	310.1	450	81.1	420	108.1	28.81

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 有
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年9月期3Q	15,000,000 株	26年9月期	15,000,000 株
27年9月期3Q	423,859 株	26年9月期	421,475 株
27年9月期3Q	14,577,270 株	26年9月期3Q	14,579,941 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)2ページ「業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	2
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	2
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	2
3. 四半期財務諸表	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
第3四半期累計期間	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
4. 補足情報	7
生産、受注及び販売の状況	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、経済政策や金融緩和策の効果による円安の進行や株価の上昇を背景に、企業収益や雇用環境の改善、設備投資の増加など景気は緩やかな回復基調で推移しましたが、欧州金融不安に加え、中国景気の減速への警戒感もあり、先行きは不透明な状況となっております。

当業界におきましては、2014年度の鉄骨需要量は約501万トンでありましたが、2015年度は、物流倉庫やショッピングモールに加え、首都圏を中心とした大型再開発物件、東京五輪関連施設建設が本格化されることから、鉄骨需要量は、堅調に推移すると見込まれます。

一方で、人手不足などによる工期遅れや人件費・輸送費及び鋼材価格等の上昇が懸念されております。

このような中、当社は受注に鋭意努力しましたが、当第3四半期累計期間の受注高は前年同四半期比27.3%減の13,414百万円となりました。

完成工事高は、前年同四半期比15.0%増の14,070百万円となりました。損益面では、営業利益208百万円(前年同四半期営業損失は27百万円)、経常利益324百万円(前年同四半期経常利益は98百万円)、四半期純利益213百万円(前年同四半期純利益は125百万円)となりました。

なお、当社は建設業以外の事業を営んでいないため、セグメントに関する業績は記載しておりません。

(2) 財政状態に関する説明

総資産は、前事業年度の23,074百万円から22,835百万円と238百万円の減少となりました。これは、現金預金及び投資その他の資産のその他(前払年金費用)が増加しているものの、売上債権等が減少したことによるものであります。

総負債は、未払法人税等が増加したものの、工事未払金、補償損失引当金及び短期借入金等が減少したことにより536百万円の減少となりました。

純資産は、利益剰余金及びその他有価証券評価差額金の増加により、297百万円の増加となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年9月の通期の業績予想につきましては、平成27年5月12日に公表しました業績予想から変更しておりません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算方法)

税金費用については、当事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積もり、税引前四半期純損益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(退職給付に関する会計基準等の適用)

「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。)及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。)を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更するとともに、割引率の決定方法を割引率決定の基礎となる債券の期間について従業員の平均残存勤務期間に近似した年数を基礎に決定する方法から退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更しております。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第3四半期累計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第3四半期累計期間の期首の退職給付引当金が23,583千円減少し、前払年金費用(投資その他の資産「その他」)が99,926千円及び利益剰余金が123,509千円増加しております。

なお、当第3四半期累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

(税金費用の計算方法の変更)

従来、四半期財務諸表における税金費用の計算は、年度決算と同様の方法により計算しておりましたが、四半期決算業務の一層の効率化を図るため、第1四半期会計期間より、当事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積もり、税引前四半期純損益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法に変更しております。

なお、この変更による影響は軽微であるため、遡及適用は行っておりません。

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成26年9月30日)	当第3四半期会計期間 (平成27年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金預金	534,251	2,060,831
受取手形・完成工事未収入金	15,322,368	13,383,383
有価証券	—	100,470
未成工事支出金	581,596	567,108
材料貯蔵品	112,342	125,700
未収入金	30,262	34,518
その他	80,067	72,767
貸倒引当金	△22,091	△18,979
流動資産合計	16,638,797	16,325,799
固定資産		
有形固定資産		
建物・構築物(純額)	1,058,300	1,006,013
機械・運搬具(純額)	437,762	408,774
土地	3,799,221	3,799,221
その他(純額)	13,416	38,022
有形固定資産合計	5,308,700	5,252,033
無形固定資産	13,484	12,867
投資その他の資産		
投資有価証券	742,911	744,627
その他	403,213	531,256
貸倒引当金	△33,000	△30,750
投資その他の資産合計	1,113,124	1,245,133
固定資産合計	6,435,310	6,510,034
資産合計	23,074,107	22,835,834
負債の部		
流動負債		
工事未払金	3,391,737	2,959,173
短期借入金	2,260,000	2,180,000
1年内返済予定の長期借入金	6,250	—
未払法人税等	22,556	99,245
未成工事受入金	—	1,559
補償損失引当金	101,440	—
賞与引当金	53,760	16,832
その他	515,682	591,354
流動負債合計	6,351,426	5,848,165
固定負債		
退職給付引当金	285,224	227,698
役員退職慰労引当金	110,726	117,582
その他	178,987	196,898
固定負債合計	574,938	542,179
負債合計	6,926,364	6,390,345

(単位：千円)

	前事業年度 (平成26年9月30日)	当第3四半期会計期間 (平成27年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	955,491	955,491
資本剰余金	572,129	572,129
利益剰余金	14,542,719	14,762,685
自己株式	△131,748	△132,780
株主資本合計	15,938,592	16,157,525
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	209,149	287,963
評価・換算差額等合計	209,149	287,963
純資産合計	16,147,742	16,445,489
負債純資産合計	23,074,107	22,835,834

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成25年10月1日 至平成26年6月30日)	当第3四半期累計期間 (自平成26年10月1日 至平成27年6月30日)
完成工事高	12,234,072	14,070,224
完成工事原価	11,876,267	13,477,327
完成工事総利益	357,805	592,897
販売費及び一般管理費	385,343	384,778
営業利益又は営業損失(△)	△27,538	208,119
営業外収益		
受取利息	6,282	529
受取配当金	16,459	17,766
不動産賃貸料	60,123	60,399
鉄屑売却益	38,707	39,011
その他	32,190	34,285
営業外収益合計	153,762	151,991
営業外費用		
支払利息	5,101	12,841
賃貸費用	7,587	7,529
遊休資産管理費	6,752	6,632
投資有価証券償還損	4,797	—
その他	3,010	8,159
営業外費用合計	27,249	35,163
経常利益	98,975	324,946
特別利益		
投資有価証券売却益	33,740	—
特別利益合計	33,740	—
税引前四半期純利益	132,715	324,946
法人税等	7,329	111,862
四半期純利益	125,385	213,084

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

4. 補足情報

生産、受注及び販売の状況

① 生産実績

製品別	前第3四半期累計期間 (自平成25年10月1日 至平成26年6月30日)			当第3四半期累計期間 (自平成26年10月1日 至平成27年6月30日)			前事業年度 (自平成25年10月1日 至平成26年9月30日)		
	数量 (屯・m ³)	金額 (千円)	構成比 (%)	数量 (屯・m ³)	金額 (千円)	構成比 (%)	数量 (屯・m ³)	金額 (千円)	構成比 (%)
鉄骨	55,583	11,588,269	92.7	52,113	13,074,788	93.2	73,165	16,264,590	92.7
プレキャスト コンクリート	12,256	914,549	7.3	14,221	956,040	6.8	17,269	1,277,612	7.3
合計	—	12,502,819	100.0	—	14,030,829	100.0	—	17,542,203	100.0

② 受注状況

イ. 受注高

製品別	前第3四半期累計期間 (自平成25年10月1日 至平成26年6月30日)			当第3四半期累計期間 (自平成26年10月1日 至平成27年6月30日)			前事業年度 (自平成25年10月1日 至平成26年9月30日)		
	数量 (屯・m ³)	金額 (千円)	構成比 (%)	数量 (屯・m ³)	金額 (千円)	構成比 (%)	数量 (屯・m ³)	金額 (千円)	構成比 (%)
鉄骨	72,751	16,588,853	89.9	49,602	13,219,653	98.5	79,851	19,142,821	91.0
プレキャスト コンクリート	28,567	1,867,349	10.1	1,635	194,682	1.5	28,374	1,900,074	9.0
合計	—	18,456,202	100.0	—	13,414,336	100.0	—	21,042,895	100.0

ロ. 受注残高

製品別	前第3四半期累計期間 (自平成25年10月1日 至平成26年6月30日)			当第3四半期累計期間 (自平成26年10月1日 至平成27年6月30日)			前事業年度 (自平成25年10月1日 至平成26年9月30日)		
	数量 (屯・m ³)	金額 (千円)	構成比 (%)	数量 (屯・m ³)	金額 (千円)	構成比 (%)	数量 (屯・m ³)	金額 (千円)	構成比 (%)
鉄骨	55,414	12,967,689	91.1	40,051	10,510,446	98.3	42,153	10,444,140	92.0
プレキャスト コンクリート	20,651	1,266,134	8.9	2,848	180,813	1.7	15,374	903,007	8.0
合計	—	14,233,823	100.0	—	10,691,259	100.0	—	11,347,147	100.0

③ 販売実績

製品別	前第3四半期累計期間 (自平成25年10月1日 至平成26年6月30日)			当第3四半期累計期間 (自平成26年10月1日 至平成27年6月30日)			前事業年度 (自平成25年10月1日 至平成26年9月30日)		
	数量 (屯・m ³)	金額 (千円)	構成比 (%)	数量 (屯・m ³)	金額 (千円)	構成比 (%)	数量 (屯・m ³)	金額 (千円)	構成比 (%)
鉄骨	54,731	11,350,406	92.8	51,705	13,153,348	93.5	75,093	16,427,923	92.8
プレキャスト コンクリート	12,054	883,666	7.2	14,161	916,876	6.5	17,139	1,279,518	7.2
合計	—	12,234,072	100.0	—	14,070,224	100.0	—	17,707,441	100.0